

キャッチコピー

『ニューノーマルで公園を使いこなそう』

日付：2021年10月20日
グループ番号：1
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

- ・ 郊外都市 開園面積200ha 年間利用者数200万人（コロナ前）
サイクリングコース，芝生広場（大規模集客イベント等可能），花畑，
木製・複合遊具，ふわふわ遊具，売店等が各所に設置，プール（夏季限定），
バーベキュー施設，ニュースポーツ

取り組み・イベント等

即売会等を開催

- ・ プライベート空間の設置（キャンプ・農園）
- ・ プライベート空間の「農園」で出来た野菜等を周辺飲食店に提供
- ・ 冬場のプールに釣り場の設置
- ・ 公園の利用方法をYouTubeで配信
- ・ 検温・手指消毒の呼びかけ
- ・ 消毒・手洗いマンの巡回（コスプレして）
- ・ オリジナルキャラクターのマスク・カバーや消毒液の販売

キャッチコピー

『世代を超えて人と公園が共に育つ』

～次世代に繋ぐ公園での取り組み～

日付：2021年10月20日

グループ番号：2

進行係：

書記係：

発表者：

公園の設定

- ・ 自然素材／体験参加型
- ・ ファミリー／親子連れ
- ・ 人間形成／公園が人を育て、人が公園を育てる

コロナかで生じた課題

人数制限、ソーシャルディスタンスの確保

解決策

タイムリーにWEBで配信／ 人気の高いイベントの先行チケットの販売

取り組み・イベント等

- ・ 海を使った公園ナイトツアー（ヤシガニ等）
- ・ 星空観察会
- ・ 親子で巣箱／シイタケ／バーベキュー
- ・ 野鳥観察会／花見、樹木観察／コケ玉
- ・ グランピング・伝統野菜の植え付け・収穫体験
- ・ チョウの舞い降りる庭（10年先を見据え公園に関心を持ってもらう）

キャッチコピー

『総合文化公園のアフターコロナ』

公園の設定

- ・ 大規模公園（縦450m 横350m）。開設25年、施設は古い
- ・ 東側は、図書館美術館、芸術劇場な文化施設。西側は、芝生広場 半半
- ・ 主な利用は近隣の方、文化芸術の関係は県外からも 駐車場500

取り組み・イベント等

<感染対策>

- ・ トイレは接触型から非接触にコロナ対策はをつけている
- ・ 遠足利用もあり、イベントについては規制も

<来園者コントロール>※イベント・施設利用以外は近隣利用者が主

- ・ 混雑情報発信：HP、Twitter、Googleマップ（オーナー登録）など
- ・ リアルイベント：WEB予約サイトで施設利用者の抑制
- ・ オンラインイベント：材料を参加者に送ってオンライン指導、オンラインフィットネス
※オンラインで行って、アフターコロナに来てもらう

日付：2021年10月20
日グループ番号：3班
進行係：
書記係：
発表者：

キャッチコピー

『もっと、自由に使う！時間をかけて考えれば、
できることはいっぱいある』

公園の設定

- ・農村里山公園 約20ha。管理事務所、体験棟などの施設が立地。
- ・指定管理者によって管理運営を行い、様々な体験メニューを提供している。
- ・積雪のある地域で、冬の活用が課題。現在はかまくらづくり、そり、動物の足跡探し、屋内でのクラフトなど。

ニューノーマルに対応した取り組み・イベント等

課題

- ・コロナでイベント中止になった
- ・屋内でのイベントが困難
- ・小グループでの活動のみ、人数制限
- ・マスク着用に強制力がない
- ・子どもたちが十分遊べない
- ・大人の運動の不足
- ・県主体で指定管理者の裁量が少ない

具体策

- ・人数制限、密にならない、予約制での参加
- ・用具の消毒、トイレを光殺菌など新システムの導入
- ・換気の充実、マスクの着用
- ・屋外でイベントを行う工夫（ただし限界あり）

対策

- ・SNSを利用した公園めぐり（セルフプログラム）
- ・安全対策（防犯カメラ、サーモカメラ等）
- ・外に出たくなる、公園のプログラムを充実
- ・公園でのリモートワーク（Wifi完備）
- ・里山の恵みを楽しむ（育てる、収穫する、食べる）
- ・利用者が自由に公園を利用できるルールづくり（キャンプ、ソロキャンプ、火気の使用など）
- ・「楽しむこと」×「リスク」を柔軟に（ナイフの使用、火（マッチ）の使用）
- ・区域の確保。安全確保。ドローンの活用
- ・だれもが使える、バリアフリーな公園づくり

取り組み

ひとりでも
家族と、仲間と
だれもが楽しい

指定管理者が、市民の声を行政にどんどん届けていく。

日付：2021年10月20日

グループ番号：4

進行係：

書記係：

発表者：

もっと、
自由に使う！
時間をかけて
考えれば、
できることは
いっぱいある。

キャッチコピー

『みんなでディスタンスを考える公園』

公園の設定

日付：R3年10月20日
グループ番号：5

進行係：
書記係：
発表者：

- ・ 地方中核都市郊外にある広域公園

取り組み・イベント等

- ・ 駐車場利用： 利用制限を解除
- ・ 遊具利用 消毒を行い利用
- ・ 手の触れる場所： 消毒薬の配置

例：光触媒コーティング（コロナウィルスの不活性化、2年間持続）をベンチ等に施工し対策とする。

- ・ 場内アナウンス： 密集、密接にならないよう注意喚起
- ・ キャンプ場： 予約をネットによる予約システムで予約、受付時にパーテーション、タブレットの使用、体温計の設置、宿泊者名簿の提出、キャッシュレス決済の導入、休憩スペース等の空間の確保

- ・衛生設備： 不備の対応や点検を充実
- ・コロナが下火になりつつあるが、日常の注意喚起を行う。
公園利用時の人との距離を空けるようアナウンス、看板での
公掲示
- ・運動施設の利用時に団体への対策として、利用する代表者
へ利用者氏名、連絡先の提出、大会においては1~2週間健
康チェックリストの提出、利用後に感染者が発生した場合は、
感染者リストの提出、
- ・年間を通じてイベントが多いので、平常時になってもイベ
ント開催時とイベント開催外でのメリハリをつける。
- ・公園はソーシャルディスタンスを確保できる施設、利用制
限のない施設として有効に活用
- ・内で行っていたものを、外に繋げる。公園だからこそ逆手
にとって有効に活用できる。
- ・公園管理者と市民とのワークショップを通じて対策を進め
る。行政と市民のコミュニケーションを密に行う。
- ・公園利用者からのアンケートを実施してコロナ対策に反映
させる。

コロナ対策のPDCA

行政



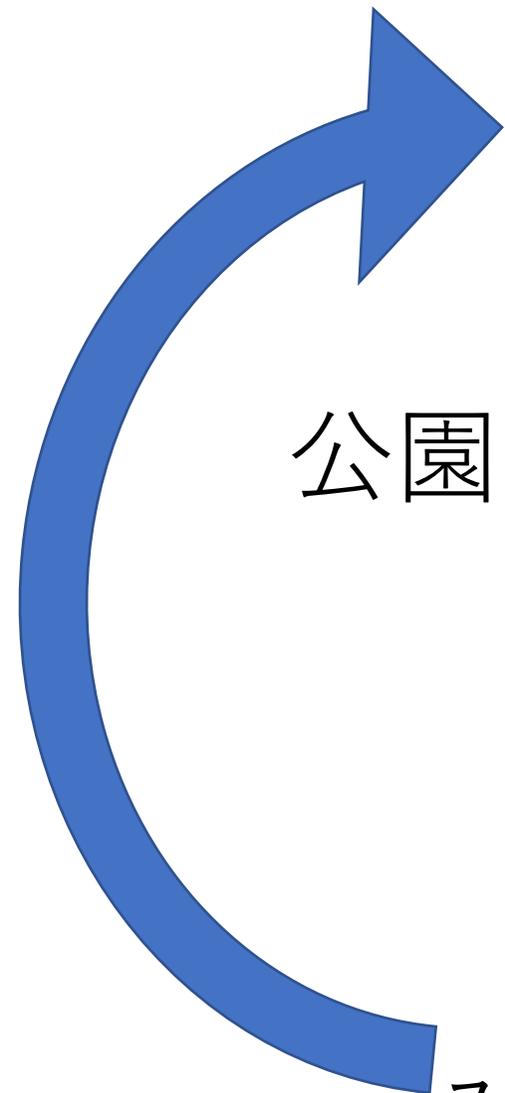
公園管理者（公園管理運営士）



利用者



みんなで考える公園利用



『デジタルでつながる公園』

公園の設定

地方中核都市の郊外にある広域公園
遊園地、夏季のみ開業する屋外プール、バーベキュー場
大型遊具のある遊具広場
春のサクラ、秋の紅葉が楽しめる花木園

取り組み・イベント等

- ・音楽フェスタ ➡ 園内で開催、公園のどこからでも鑑賞できる
- ・ポケットWi-Fi貸し出し、公園のフリーWi-Fi整備 ➡ テレワーク、ワーケーションでの活用
- ・お花見：花見エリアの事前予約 ➡ 事前予約により3密を避ける
- ・ワクチンパスポート ➡ 安心できる施設利用
- ・公園利用者タブレットなどに広告配信 ➡ 収益事業

【コロナ禍で生じた問題点】

- ・
- ・

【解決にあたっての課題】

- ・
- ・

【コロナ禍においても人々のQOL（生活の質）を維持し高めていくための公園管理】

- ・ 公園で音楽をやる意義
広い屋外空間：3密にならない
- ・ ポケットWi-Fi貸し出し → 園地でのワーケーション
- ・ 公園全体で分散してタブレット等で離れた場所で楽しむ

新しい施設
新しいサービス
新しい公園の利用方法

地方中核都市の郊外にある広域公園
遊園地、夏季のみ開業する屋外プール、バーベキュー場
大型遊具のある遊具広場
春のサクラ、秋の紅葉が楽しめる花木園

バーベキュー広場

子ども向け施設：じゃぶじゃぶ池 ※コロナで使用不可

農業公園

田んぼ：子どもの田植え体験、近隣小学校との連携
体験農園：小学校対象、一般の方対象としたイベント

運動公園

Jリーグ、野球キャンプ
オリンピックの事前キャンプ
ウサギ、ヤギの飼育→エサの販売による収益

環境教育

デジタル環境教育

森の中と学校をICTでつなぐシステム開発中

キャンプ場

冬でもウインターキャンプ
入口に体温計、アルコール消毒設置、来園者への呼びかけ
ゴーカート：他車両と距離を開けての発進など工夫

大型遊具

入口・出口を統一、アルコール消毒設置

屋外空間の整備

展望エリアの整備、テーブルベンチ設置

3 密を避ける

①利用時間帯分ける 公園の夜間利用

利用者に安心して利用できるアピール

②満車情報などをリアルタイムでSNSにより発信

③公園の利用状況を公園入口のデジタルサイネージの設置

➡公園利用者が公園での楽しみ方を公園についてから決められる

④オンラインを活用した公園利用促進

⑤音楽

屋外で個人バンドの練習など

音楽を聴きに来る来園者

空いた園地活用

電気施設：電源の有料貸し出し➡収益

小規模ライブ開催➡収益

キャッチコピー

『ワクチンパスでFree PARK』

日付： R3年10月20日
グループ番号：7
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

・大都市圏にある運動公園

テニスコート、野球場（最大2,000人）、バスケットコート、芝生広場、無料駐車場250台（5か所）、
入場制限可能な公園

※テニス教室（コロナ禍で中止）

取り組み・イベント等

【ワクチンパス等を活用した取り組み】

ワクチンパス等保持者への入場制限解除

- ・マスク着用の緩和⇒市民の運動不足解消
- ・イベントの再開
- ・スポーツイベントの誘致＝誘客促進

『新しい生活様式におけるグリーンエクササイズ』

公園の設定

・運動公園

Jリーグホームゲームのある競技場、大規模な野球場もある。

試合時以外にも様々なイベントも開催している。

施設設置からはかなりの年月が経過しており、改修が必要な状況

日付：2021年10月20日

グループ番号：8

進行係：

書記係：

発表者：

取り組み・イベント等

- ・密の状況を評価できるシステムの整備
- ・運動指導、記録をできるアプリによる健康増進
ポイント制による利用促進
- ・屋外で行う運動教室の開催(ヨガ教室等)

日付：2021年10月20日
グループ番号：9
進行係：
書記係：
発表者：

キャッチコピー

『規制+魅力配信 ～小さなことからコツコツと』

公園の設定

・都心のターミナル駅に近い近隣公園。繁華街の街路と一体的に整備された広場、ベンチ、トイレ、花木植栽。周辺には若者

問題点

公園飲みをする人が増える

酔っ払いへの対処、マスクをしない利用者

ガードマンをつけたり、外で飲まないようサイン設置、巡回指導などを行う。朝のチューハイ、ビール缶などのゴミが散乱

スケボーをする人が増える

夜間の利用も増え、スケボーをひっくり返す音が騒音として近隣のクレームとなる。

お花見で人込みとなる

ボランティア活動の低迷

ボランティア自身の自粛

感染対策がはっきりしない状態のときは活動中止

対策をとり、活動する。

抑制の方向への対策

お花見を禁止する周知活動を行う。

利用指導に重点を置く。

車のナンバープレートを確認して自主的に注意を行うグループがいた。

散歩している人が満足してくれたら嬉しい

管理の品質を保つ

積極的な対策

動画配信を行う

見頃な花や植物の解説など

掲示板の設置

感想、気づきなど自由に書き込めるところを設置

キャッチコピー

『日常利用者の心に花とみどりを』

公園の設定

- ・東海3県（愛知・岐阜・三重）にまたがる日本一広い国営公園（河川公園）。特徴的な施設として展望タワー、自然発見館、フラワーパーク、アウトドアフィールドなどがある。
- ・通常時の年間利用者数は1千万人であったが、コロナにより700万人に満たない集客となる。

取り組み・イベント等

大型イベントに頼らない集客維持の取り組みを実施
日常利用の増加を目的としたインスタ映えのフォトスポット新規設置
（カラフルなベンチやドアの設置）
花と緑を活用した新しい空間演出による集客率向上
アナウンスによるマスク着用・手洗いの促し・推進
アナウンスによる当日のイベント案内
地元の名所フォトラリー（年配者を外へ連れ出す）
クイズラリーのような園内レクリエーション
利用日・時間帯に合わせたイベント実施

日付：2021年10月20
日グループ番号：10班
進行係：
書記係：
発表者：

キャッチコピー

『なんでもできる公園withコロナ』

公園の設定

- ・都市部の中型公園
- ・世代間交流拠点

取り組み・イベント等

- ・時間帯とエリアで利用可能な活動を定めて、密度管理を実現する。

例)夜間に飲める公園

日付：2021年10月20日
グループ番号：11
進行係：
書記係：
発表者：

◆対象公園

| 立地 | 規模 | 周辺地域の状況 |
|---|---------------------------------|---|
| ・都市部 | ・中規模の公園 ・イベント ・大きな芝生広場 | ・交通の便良い |
| 主な公園施設 | 利用状況 | 特徴 |
| ・飲食店 ・無料の駐車場 ・運動施設(体育館、テニス、 野球(有料、夜間照明あり)) ・子育て支援センター | ・市民が普段から活用 ・家族利用 ・遠方の方も来る | ・スポーツ利用が一日中多い ・近隣小中学校の利用も多い (運動場として活用) ・子育てママの活用 |

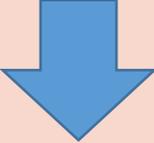
管理運営方針

- ・世代間交流を進める場
- ・市民の健康づくりの拠点(ヨガ、太極拳など)
- ・子育て支援
- ・高齢者の健康増進
- ・すべての世代が使える市民の公園

◆コロナの影響

| NO | 発生した問題点 | 解決にあたっての課題 |
|----|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・公園利用が増加して、密状態が生まれた。 ・駐車場の制限が必要となる場合あった。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・公園、場所、時間帯によって利用の状況が変わってきた。 ・公園で飲んでいる人がいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・早朝、夜間の密状態を管理するのが難しい。 ・HP、看板等で普及啓発するが、効果は？ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症防止対策の実施が必要 (マスク、ベンチ対策、非接触型トイレ、ハンドソープ、体温センサー等) | <ul style="list-style-type: none"> ・盗難 ・経費が掛かる？ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの制限 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康状況の確認 ・個人情報の管理(感染経路追及のため) ・アプリ導入のお願い ・事前告示 ・人流抑制(一方通行) ・換気 ・人数制限 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ふわふわドーム使用禁止 | |

◆ニューノーマルに対応した取組(コロナ禍におけるQOLを高める取組)

| 時間 | 時間 | 具体的な取組 | 効果 |
|----|-----------|--|---|
| | 朝 | 一方通行のジョギングコース (早朝利用) | <ul style="list-style-type: none"> ・密度管理、時間帯管理を実現するために、逆に「この場所でこの時間にこれはできます！」とルール化 ・なんでもできる公園withコロナ  <p data-bbox="1578 1102 1835 1150">QOLの向上</p> |
| | 昼 | テレワーク公園 (昼間) | |
| | 昼 (館内) | オンラインイベントの実施、VRイベント (オンライン太極拳、防災教室) | |
| | 晩 | 夜間に飲める公園・オンライン飲み会広場 丸太テーブルの設置 (夜間利用) | |
| | | | エリア |

キャッチコピー

『○○パーク コロナ大作戦』

公園の設定

・地方中核都市 大きさ7ha。近くにショッピングモール隣接。運動広場は人工芝1面、天然芝1面、テニスコート。里山的な景観を残したエリアも残る。

取り組み・イベント等

- ・飲食販売：現地での調理、包装等は禁止。すでに梱包してあるものを提供。
- ・不特定多数のブースについては入場者数を制限、特定できるブースは予約制で対応。
- ・イベントの長期に行い密を回避。
- ・人流の導線を明確にして、密の抑制を図る。
- ・積極的SNSを活用して、極力予約制にし、密の回避を図る。
- ・バーチャルガイドツアー等の開催により、密を回避する。

日付：2021年10月20日

グループ番号：12

進行係：

書記係：

発表者：



キャッチコピー

『ウィズコロナにおける新たな公園利用方法』

日付： 2021年10月20日

グループ番号：13

進行係：

書記係：

発表者：

公園の設定

- ・大都市近傍にありながら農村や里山の風景を残す地域にある風致公園

取り組み・イベント等

課題 問題点

- ・利用者の制限 三密の回避
- ・施設閉鎖による利用減に伴う対策
- ・マスク未着用への対応（ジョギング等）

現在の取組み

- ・サーモスタッド（検温）
- ・掲示等で知らせる（マスク着用）
- ・Web SNS 発信（イベント内容）
- ・イベント時の時間短縮 利用制限
- ・利用者情報記入のお願い
- ・利用者増の取組み
農業体験 クラフト体験

今後のテーマ

- ・ 公園のイメージが向上した
マスク着用が定着した
積極的な戦略に打って出る
- ・ 体操 ヨガ
- ・ Wi-Fiを活用した屋外でのテレワークの活用
- ・ 施設の開放（テレワーク活用）
自販機（多機能）にアンテナを設置する

キャッチコピー

『ニューノーマル時代だからこそ公園へ行こう！』

公園の設定

大都市近郊にある広域公園

コンサートホール、美術館が併設されている。有料施設は野球場、テニスコート等のスポーツ施設、売店、駐車場。じゃぶじゃぶ池、ユニバーサル遊具、バーベキュー場、ジョギングコース、日本庭園や噴水等の水景がある。

取り組み・イベント等

・SNS等で公園映像の動画配信を行い、衛生面含め公園の魅力を発信していく

広い！ 密にならない！ 緑が多い！ 安全！ リフレッシュ！ 体を動かせる！ 家族で安心して過ごせる！

(広域公園ならではのアピールポイントを積極発信)

【イベント】

・**ドライブイン**コンサート、シアター

・**花**を楽しむ(サクラウィーク、オータムフェア(紅葉))

・**音楽**を楽しむ(路上ライブ、密を避けて原っぱでコンサート、短時間かついろいろな場所で)

売店だけでなくキッチンカーを導入し、公園のいろいろな場所でめいめいに一日を楽しんでいただく

※特に衛生面で、周辺住民や関係者の理解を得るための方策をしっかりと立て、発信する

(イベントによってはワクチン接種証明も)

日付：2021年10月20日
グループ番号：14
進行係：
書記係：
発表者：

キャッチコピー

『ソウゴウ公園をソウゴに楽しもう！』

公園の設定

・人口約20万人の地方都市にある、運動施設（有料）、遊具、緑地（芝生広場、多目的広場等）を有する総合公園。子育て世代や、健康増進を目的としたスポーツ目的での来園が多く、ボランティアでの来園もある。

取り組み・イベント等

- 早朝開園、ヨガ開催、自転車使用の推奨
- イベントの開催を高齢者・子育て世帯向けは平日午前中、就学児童以上は土日などに分散
- 対象を年齢層に区切って想定した料金割引やサービスの付加などで、分散利用を誘導
- ソーシャルディスタンスを保ちやすいキャンプの推進（キャンプ場の整備）
- ボルダリングなどを屋内外整備で分散、スケートボード（屋外）で子供誘致
- 設備使用者・団体は名簿等での利用者管理
- 上記新しい公園利用の情報発信
- 指定管理者から地方自治体に公園利用方法について働きかける

キャッチコピー ～（コロナ以前）プロスポーツから市民スポーツまで～

『誰でも参加できる！多様性に取り組む運動公園』

公園の設定 大都市圏にある運動公園

立地条件：札幌市の住宅街に位置する。最寄り駅から徒歩20分、駐車場3つ（550台分）

屋外施設：メイン競技場（陸上競技、投てき種目、Jリーグの試合会場：年3回）収容人数2万人と補助競技場

屋内施設：教室2部屋、屋内走路（200m）、スポーツジム

管理運営方針：国体を実施するために建設され、その後は学校団体などの体育大会として利用。

自主事業：運動教室の運営（陸上に特化している）

【コロナ禍で起きた問題】コロナ禍は施設が閉鎖（敷地内は利用可）。敷地内には大勢の人が集まる。

取り組み・イベント等

■これまでの取り組み

- ・ランナーにソーシャルディスタンスをとってもらうための対策として、コースに2m間隔の表示を設置。
- ・マスク着用の表示も設置。
- ・イベントの条件：事前予約制。定員は半減もしくは中止。検温必須。

■今後の取り組み

- ・ドライブイン花火大会：ドライブインシアターの花火大会版。
- ・動植物の観察会等により、園内の自然に興味を持つ機会を提供する。
- ・芝生広場でヨガなどの運動教室（ペアになるときは家族：日頃からともに生活している人とする）
- ・医師に来てもらって体力測定 ←老若男女に運動してもらいたい＝生活の質の向上

日付：2021年10月20日
グループ番号：2班
進行係：
書記係：
発表者：

キャッチコピー

『そうだ！里山へ行こう！』

日付：2021年10月20日

グループ番号：3

進行係：

書記係：

発表者：

～窮屈な日常を忘れる一日～

公園の設定

- ・大都市近郊の屋内、屋外の体験施設がある風致公園

課題

- ・**有料施設**：入口での検温、入場制限、マスク・消毒の徹底、スタッフの健康管理
- ・駐車場の閉鎖（入ってくる人数の制限）
- ・公園内での利用を変える（芝生での飲食、普段使用していないスペースの活用）
- ・団体予約は事前予約制、人数をコントロール

取り組み・イベント等

- ・観覧型の体験として伝統的な暮らし（古民具を使った田植え等）を演じて見せるイベント
- ・森林管理体験をしながら新たな休憩スペースを創出する
- ・これまでできなかったことが公園でできるという発信
- ・駐車場の込み具合がわかるような仕組み、施設の待ち時間がわかるシステム
- ・セルフ型イベント（オリエンテーリング、クイズラリー等）

キャッチコピー

『コロナより強い！公園運営』

日付：2021年10月20日
グループ番号：4
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

大都市近傍にありながら農村や里山の風景を残す地域にある風致公園。

課題：普段利用していない地域から多くの人が押し寄せ、それに対する近隣住民の不安。

取り組み・イベント等

【趣旨】

- ・利用分散を促し、蜜にならずに楽しめる機会を提供
- ・普段利用していなかった方へ、公園の楽しみ方を伝える機会を提供
- ・広さを活かした、3密にならないイベント等を展開する。

【内容】

- ・コロナでもできる体験教室（3密回避、屋外、動画配信など）
- ・あるもので楽しむ、楽しめる工夫を伝える
- ・普段利用していなかった方へ、公園の楽しみ方（はじめての里山の公園利用、テレワークなど）を伝える。
- ・コロナによって、ネット配信などで、広く魅力を発信する⇒落ち着いたら公園に来てもらえるように！

「コロナ禍でも夢を語り、自由に活用できる公園」

日付:2021年10月20日

グループ番号:5

進行役:

書記係:

発表者:

公園の設定

- ・都心のターミナル駅に近い近隣公園
- ・繁華街の街路と一体的に整備された公園
- ・周辺には真面目な学生と不良など、たくさんの若者が集まる

取り組み・イベント等

- 行政からの指導により、制限が多くかけられた
 - 利用者受け入れの対策(人数を集中させない工夫)
 - 入場、参加の予約制の導入
 - イベントでないかたちで利用者を誘致する
- 若者の飲酒が問題(騒音、ごみ、ルールが守られない)
 - 花見などの期間に限定し、ルールを守って自由に楽しめる工夫
 - 利用方法(飲酒可能エリアを設ける)を分けて、自由に利用できるようにする
- 人の賑わいをつくるために、オープンスペースを活用する
 - 近隣商店街と連携した新たな仕掛け(マルシェやケータリングなど)
 - 室内で実施していた園芸教室などを屋外で実施する。コロナ禍でも子供が自由に楽しめるスペースの提供
 - 街路樹のイルミネーション(周辺を明るい雰囲気にして治安をよくする。人を呼び込む)
 - 夜間のキッチンカーの誘致(地域の賑わいを取り戻す)
- 繁華街と一体整備されることによる課題
 - 繁華街の商店と一体となった公園管理(地域コミュニティの形成)

利用者ニーズを把握し、それに応え、地域の夢をかなえていく

キャッチコピー

安心感を与えられる公園の管理運営

日付：2021年10月20日
グループ番号：6
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

都心のタミール駅に近い近隣公園（子供用遊具あり、収益施設なし）

取り組み・イベント等

- ①飲酒等の迷惑行為・不適切行為の防止のため、地域・警察等との連携で見回り活動やマナーアップ啓発を実施
- ②注意喚起看板設置（市民参加による制作・設置、子どもがデザインしたポスター等）
- ③屋内施設や水遊び場、喫煙所の利用中止・制限
- ④遊具等施設部材への光触媒コーティング（体験型イベントを実施し理解促進、安心感醸成）
- ⑤パークゴルフや健康活動グループ等とのコミュニケーションによる注意喚起
- ⑥密回避・ナイトタイム活用のため、人数を制限したうえでイルミネーションイベントを実施
- ⑦職員・スタッフの安全安心の確保、清掃スタッフの衛生対策（事業継続）
- ⑧利用者・従事者の対応を見える化したマニュアルの作成
- ⑨行政・地域・利用者動向の最新の情報を収集し、効果的に発信することが重要

キャッチコピー

『老若男女に親しまれる公園』

～市民にコミュニティの場を提供する～

日付：2021年10月20日
グループ番号：7
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

- ・都心のターミナル駅に近い大きな広場がある公園

芝生
広場

舗装
広場

遊具

花壇

屋外コン
サート会場

- ・想定利用者層：若い親子、若い世代
- ・想定面積：40ha



COVID-19に対する公園における課題

①遊具の利用規制

②タープテント利用増

③イベントの規制

④公園飲みへの対策

⑤ボランティア活動の規制

⑥イベント事業者の認識の甘さ

⑦利用者が増える（県外からの利用者も増える）

※電車だと密になるので車を使った移動が増えた

課題に対する取り組み等

①遊具の利用規制

- ・遊具の利用は感染状況に合わせて人数制限する。
- ・遊具の消毒の回数を増やして、利用を解除する。
- ・手洗い場（自動水栓）を整備する。

②テントタープの利用増

- ・敢えて、会議や集える場を屋外に設置し、その場の利用を促進する。
- ・Wifiの整備を完備することで利用の幅を広げる。
- ・ルールの設定。
- ・利用できる区画を整備する。

③イベント規制

- ・家庭で出来る工作キットの配布。
- ・動画制作
 - 自宅に居ても公園を楽しめるコンテンツの配信
 - オンラインで工作の制作過程を配信し、制作した工作物を公園で展示
- ・手に入りにくくなった手袋やマスクを提供する
 - 工作キットでマスクづくり
- ・少人数・少グループでの開催
- ・感染症対策（イベント前のマスク着用や消毒）

④公園飲みへの対策

- ・看板の設置、職員の順守
- ・警察の巡視ルートの強化依頼

⑤ボランティア活動の規制

- ・活動前の検温消毒
- ・活動時間の短縮
- ・ワクチン接種促進（接種対象者への優遇）
- ・参加者の安全確保が第一

⑥イベント事業者の認識の甘さ

- ・事前の打ち合わせの徹底
- ・コロナ対策を盛り込んだ誓約書の取り交わし
- ・参加者への対応（当日の立ち合い、誓約書の内容の確認）

⑦利用者が増える（県外からの利用者も増える）

- ・近くのコインパーキングの案内（路駐対策として）
- ・事前のご案内

キャッチコピー

『パンデミックを契機とした公園の楽しみ方の進化』

日付：2021年10月20日
グループ番号：8
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

・大都市近傍（都心から3～40Km）にありながら農村や里山の風景を残す地域にある風致公園。管理事務所や多目的室、調理室、木工室などを持つ拠点建物が設置されており、指定管理者によって年間を通じて提供される森林管理体験、農業体験、伝統的な暮らし体験、クラフト体験などの多様な体験メニューが特徴の公園

取り組み・イベント等

楽しみ方のパッケージ

- ・家族・友人・ソロ・高齢など様々なターゲットに対し、自然を満喫できる1日をセルフで楽しみめるメニューを提供
- ・自然・公園にこれまで親しみのない層へのハードルを下げ、利用者層拡大を図る⇒身近な自然で楽しむ持続可能な社会づくりにつながる
- ・これまで利用が少ないエリアも活用して密を避ける
- ・アプリ等ITを活用する、利用上の注意をさりげなく周知する
- ・オンラインメディアの活用（記事）

『ピンチはチャンス！新たな利用を探る』

公園の設定

・地方中核都市の広域公園

取り組み・イベント等

- ・新型コロナ禍のなかで公園管理者として新しい生活様式に対応した取り組みの具体的提案（問題点と提案）
 - ・密対策、混雑、季節によって混雑発生、利用制限
 - 利用分散
(期間、時間、空間)
 - バーチャルでマラソン大会（時間のみ共有）
 - 導線のコントロール
 - ・対策費用、収入減、手間かかる、休業補償
 - イベントやめる縮小→対策費用捻出
 - 対策を選択集中
 - ・スタッフが精神的にまいる（コロナ対応、お客さん、感染リスク）
 - スタッフも楽しめるものを、スタッフにも気にかける
 - コロナを機会にスタッフ間の交流、相互理解
 - ・公園利用減少、閉園のリスク
 - バーチャルでマラソン大会（時間のみ共有）
 - スタッフの感染対策実施で利用者が安心感（噂が出ないように）
 - コロナを逆手に取った提言。外国の公園とSNSでつながってイベント、など
 - ・アクセス問題（ツアーバスが来ない）
 - 遠くの方ではなく、近くの方を呼び込む。客層の変化に対応。
 - ・広報活動しづらい
 - ・公園マナー低下（多くの方が公園にきて）
 - ・運動施設でのマスクによる熱中症対策
- ※飲酒禁止により、逆によいことも。嘔吐対応しなくてよい。

『いつでも楽しめる公園にするには』

公園の設定

・地方中核都市の郊外にある広域公園

屋外プール、バーベキュー場、運動施設などの有料施設の人気の高い。広場や遊具があり、コロナ前は人が増えた公園。
広場、春の桜、イベントが楽しめる公園

コロナ過の問題点、その解決にあたっての課題

【収支⇒補償？】

- ・利用料が下がった。補償はあつたりなかったり。・時短要請によりナイター利用などが規制。キャンセルが多かった。
- ・教育施設系の施設は規制が厳しく、利用者が流れてきて増えた。
- ・自主事業部分は全く保障されず。

【利用の制限】

- ・本当に利用したい人が利用できなかった。
- ・色々な工夫や方法を検討した（密にならないように、人数をコントロール、電子チケット等導入）が、営業ができなかった⇒コロナ過でも運営できる施設とは？ / 感染対策のマニュアルなどを整備することで自治体の理解を得て運営した。
- ・利用料徴収制のため、管理者への収支の影響は特になかった。大会（貸切利用）が中止になった分、一般利用者の利用機会は増えた。

【管理者としての管理対応の増加】

- ・BBQなどはルールをあまり守れない利用者などもいて、巡回など大変だった。
- ・利用サービス、警備の対応、コロナ対策の物資など支出が増えた。最終的に収支落ち込む。
- ・利用者からのクレームも発生。管理者による制限やルールの違いで説明しづらい。

取り組み・イベント等

コロナ過においてもQOLを維持し、高めていくために公園管理者としてどのように取り組んでいくべきか

- ・収支全体で自治体が補償（責任持った対応を）
- ・予算の枠組みを変更して、使わなかったものを他のところに使う。
- ・集まってやるイベントではなく、個別に楽しめる形にしたり、オンライン配信（ヨガ）等のやり方でサービスを提供する。
- ・スタンプラリーなど、屋外で、密にならないイベントや活動を実施する。
- ・一気に人が集まる形ではなく、何回かに分けて、少人数で対応。不特定多数ではなく、管理しやすい形でのイベントの実施。期間をもって実施するイベント。結果、参加者は県外から集まるのではなく、周辺の地域の利用者のリピート利用。（駐車場利用の制限）

『ピンチをチャンスに変える公園運営のターニングポイント』

公園の設定

地方都市郊外にある総合公園。野球場やテニスコート、パークゴルフ場等の有料のスポーツ施設を有し、大面積の芝生広場や水景施設等、風光明媚な施設を有する。また、一部屋内収益施設としてレストラン、温浴施設、プール等は地域住民の利用が多く地域に愛されている。公園の最大の魅力として、ライラックの森があり、花の時期には観光客が多く訪れる公園である。

取り組み・イベント等

◆安全・安心の徹底を実施

- ・ イベントや建物管理については、毎日チェックリストや検温対応等の実施
- ・ 屋内施設に関しては、問診表の記載により、コロナ感染者の利用が発覚した際には、他利用者が特定できるシステムづくりを実施
- ・ 遊具等の人気施設については、ソーシャルディスタンスを保つ工夫や、入場制限等の実施。

◆アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた公園のアピール

- ・ 毎年恒例のライラックまつりの中止に伴い、花のディスプレイ制作等により、花の魅力を伝えることやSNS等による発信により公園に来なくても楽しめる仕組みづくりを実施。
- ・ SNSにより、朝日や夕方の写真等、魅力的な公園情報の発信を行い、利用者が分散できる仕組みを行う。
- ・ イルミネーション等、前もって動画を撮影し、youtubeで発信することで公園の魅力をPRする。

◆コロナ禍だからできることの実施

- ・ 大きな広場やサッカー場等、日ごろ利用できない場所や広々とした空間を一般の利用者に開放し、屋外でのびのびと遊べる空間を開放する。
- ・ 利用人数を制限することで、自然観察会等のクオリティを上げる工夫を実施
- ・ オンライン自然観察会を実施し公園に来なくてもイベントに参加できるシステムづくりを行う。
- ・ 休館中に施設改修等を行って、施設の魅力アップや維持管理の効率化を図る。

キャッチコピー

『コロナに打ち勝つ管理運営 次のコロナ感染への備え』

日付：2021年10月20
日グループ番号：12
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

・広域公園。

スタンドのある陸上競技場、サッカー場、テニスコート、体育館、一般開放の芝生広場、こども遊び場などのある週末には大変人気のある公園

その他にも、有料の駐車場、飲食店も備えている

取り組み・イベント等

①公園指定管理者として・・・

コロナの感染状況の把握、コロナ対策のマニュアルの見直し

②施設の見直し

利用料のキャッシュレスの導入、利用者の受け入れ制限

③イベント

リアルとオンラインとを合わせた新たなイベント

『みんなであそぼうじゅんばんこ』

公園の設定

・都市近郊の総合公園(浜名湖ガーデンパーク・松江フォーゲルパークなど)

取り組み・イベント等

【課題】 ①コロナで利用者が増え、利用者の密を避けることが課題

→屋内施設の対応が必要(有料施設は人数の制限(エレベーター、展望室等))

②屋外の遊具に利用者が殺到 水遊び広場→閉鎖・運用中止

③飲食：ケータリングで芝生広場などで密を避けて対応

④イベントは家族単位など小規模なものは実施(分散)、大規模なものは中止

【対応策】(事前予約・入れ替え制)

- ・セルフクリエーション(利用者自らが工夫して遊ぶ仕組み)
- ・日常以上・イベント未満(写真コンテストなど)
- ・障がいを持つ子供たちにも広場を活用して対応、PRしていく

芝生広場
への負荷
が増大
↓
管理密度
を上げる

キャッチコピー

『運動を止めるな！』

日付：R3年10月21日
グループ番号：1
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

・大都市圏にある運動公園

立地条件：駅から徒歩圏内、管理運営方針：安全・安心、スポーツ振興、
周辺地域の状況：地方中核都市の郊外

取り組み・イベント等

【課題等】来園者へのマスク着用徹底、講習やイベントが対面での実施が困難、
大規模イベント中止に伴う個人利用の増加

【取り組み】マスクを着用できない方への配慮（タグ等配布）、有名選手による
オンライン講習・教室の実施、HP・SNSを活用した情報発信（園内混雑状況等）、
情報収集・発信、ニーズに合った取り組み、コロナ禍における健康維持の促進、
マスク着用のうえ2m間隔を確保しジョギング・ウォーキング、事前予約制（オン
ライン予約、当日のみ電話）

キャッチコピー

『24 h 里山Satoyama for All』

～里山をすべての方に～



日付：2021年10月21日
グループ番号：2
進行係： 氏
書記係： 氏
発表者： 氏

公園の設定

・里山:大都市近傍にありながら農村や里山の風景を残す地域にある風致公園。管理事務所、多目的室、調理室、木工室などを持つ拠点建物が設置されている。指定管理者によって年間を通じて提供される森林管理体験、農業体験、伝統的な暮らし体験、クラフト体験などの多様な体験メニューが公園の特徴となっている。



取り組み・イベント等

課題

・県外、外出が減った。公園での散策。交流を求めて。どうしても人が集まってしまう。公園は格好のスポット。場所探しに苦労。里山公園は広いが、施設によって集中、過密が発生。

・**食事の場所などは集中。魅力的な場所⇨集中。分散と集客がポイント。**・屋外への欲求、簡易テントが密集、キッチンカーも分散するなど、管理者側の工夫も必要。

・費用と労力が高んだ。公園スタッフの負担増、

取り組み・イベント

・**分散誘導の工夫を。密回避の案内板の掲示。時間と空間の分散。**

利用単位：知人、ファミリー、多様なふれあいは限定的だった可能性がある。一方で若者の利用が増加傾向のある。

・若者に届くSNS等で発信、込み合う時間をさけるなど。予約制による分散誘導は効果的

・**24時間里山体験：安全を確保しながら夜の里山を体験**

・**収益性と管理運営の両立、相乗効果、映えるケイタリングカーの導入※民間活用**

・**お客様にも運営に参加していただき、管理者と共に公園を運営。**

・若者とシニア、世代間交流の促進。

・苦情のない管理⇨禁止ばかり。スタッフの負担を公園利用のお客様とともに管理する。お客様の協力があつての管理運営。

キャッチコピー

『公園から広がる地域携』

公園の設定

・想定される公園 広域公園

取り組み・イベント等

さんみつを避ける具体的な取り組み

①お客様を分散させる

- 1) 新たな利用提案（穴場スポットの提案）
- 2) 空間時間をシェアする
- 3) コミュニケーション

近隣公園間の情報交換 インターネットを活用

ウェブサイト立ち上げ（リアルタイムな情報発信）

普段見れない公園空間紹介（ドローン撮影）

②お客様トラブル対応

- 1チラシ、掲示板、利用指導、巡回指導、
- 2共通ルールへの掲示と規制（状況により内容の緩和・改善）

地域公園施設、近隣施設の繋がり案内を行う。公園から広がる地域連携

- 1時間をずらす、
- 2事前予約、
- 3集中ピーク時間周知、
- 4誰にでもわかる周知（遊びと繋げる）複合的
- 5穴場スポット紹介（利用者を分散）、
- 6新しく抗菌、光触媒コーティング

日付：2021年10月21日

グループ番号：3班

進行係：

書記係：

発表者：

キャッチコピー

『これまでの総括と
これから求められる公園の 使い勝手の創造』

日付：2021年10月21日
グループ番号：4
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

- ・ 地方にある広域公園（大都市から1～2時間）
- ・ 箱物（入場制限あるようなレストラン、売店、レストハウスなど）
- ・ 学校は休校で、公園は開園していて、ニーズが増えている

取り組み・イベント等

- ・ 事前告知（HP、SNS等活用）
- ・ 人数制限、適切な人数を探る
- ・ くつろげる場所を増やす
- ・ 子供や外国人にもわかりやすい看板設置（ピクトグラム）
- ・ 想定を超えた利用への対応（許容）

意見

- ・花畑渋滞、入場制限あった
- ・プール、水族館などは自治体のガイドラインに沿う必要があった
- ・新しい魅力の伝え方（ドローン）の発見
SNSで発信する【取り組み方例】
- ・人数制限の対応：バスの乗車人数を半減。
屋内のイベントを屋外で実施することで、解決策となった
施設内は制限できたが、外が密になってしまった

問題点

- ・子供は注意喚起の看板は見ても気にしていない（間隔を開ける、抗菌方法）
→子供が触るものには、スタッフをつけてアルコール消毒した
- ・課題：リモートで運動不足、ストレスを抱えている人にたいして公園ができること
- ・学校休校中の子供の利用が増えた。サイクリング、企画提供、ビジネスチャンスの可能性もある
- ・休校中に公園（国営公園）が閉園となり苦情が出た。公園のあり方を考えるべき
- ・売店は特になかったが、エントランスの混雑が課題
→つづら折りなどの対応、外に消毒液、足跡看板
- ・利用者への伝え方、行政との連携方法：
公的機関が作るポスターを活用、HPが情報発信のメイン、SNS等も活用
ピクト付看板を密になるところに配置、園内放送を重点的に実施した
- ・駐車場：連休中などは駐車場に入れず渋滞していた。ゲート通過時に説明時間があり、車道まで渋滞した。
混んでいて来園者も不機嫌になっているように見受けられた。適切な人数を探る
事前予約、事前告知の重要性
来園者数だけに頼らない評価→休園中の減少は行政も理解してくれていた

キャッチコピー

『ウイズコロナでニューパーク』

日付：2021年10月21日
グループ番号：5
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

- ・規模：政令指定都市の市街地にある公園（10ha程度）総合公園
→住宅地に比較的近く交通の便も良い。有料駐車場（200台）
- ・飲食店・物販施設あり
- ・屋内イベントスペース（教室・研修などもできる）
- ・屋外遊具施設/散策できる程度の樹林地/庭園エリア/B B Q施設/屋外ステージありの広場/
- ・プログラムを楽しめる。（屋外ヨガ・自然観察・バタフライガーデン・ボランティアによるガイドウォーク）
- ・スポーツ施設あり

取り組み・イベント等

1.事前対応

①密の回避等

→基準を決めて解放（入園者・利用状況に応じて人数制限/利用基準を変え
ロッカーなど）（室内の場合は/

屋内施設のワークショップなどは予約制の導入+追跡調査できる体制整える

②個人への協力システム

取り組み・イベント等

2.入園システム

①事前告知

→インターネットを活用した（マスク・発熱など）

②混雑マップ：事前に利用が混雑状況を配信できる。利用者は自己調整できる

③分散システムの徹底

3.利用・活用サービス

①ファミリーコアスペース：普段利用の少ない場所を家族単位で楽しめる場所として設定

②分散ウォーク/利用者を分散させるためにグリーンカーテンなどの設置。

③オンラインガイド・ラリー/オンラインガイドの自然散策

④テレワークスペース：机とWi-Fiの設置。子供の遊べる場を近くに、また子供プログラムの開催/ハンモックの貸し出し

⑤駐車場イベント（映画・花火・音楽会・お笑いステージ）/コンサートの様子をYou Tubeでオンライン配信

⑥ペット対応イベント：ペットと一緒に写真とれるフォトスポット・ペットとハロウィン

4.飲食・物販サービス

①飲食店のパーテーション・電子マネーの導入・机の数を減らす

①ケータリング→“手ぶらでピクニックセット”で外で楽しめるシステムを導入

→季節に応じたピクニックセット：秋の紅葉セット・春のお花見セット

②オンライン発注

5.非入園サービス

①オンライン講座→パークトーク（いろいろなテーマで公園の魅力を配信）

②オンライン研修→ボランティアサービス

キャッチコピー

『地域之力・魅力の再発見』

日付：2021年10月21日

グループ番号：6

進行係：

書記係：

発表者：

公園の設定

・大都市近郊にあり農村や里山の風景を残す公園。管理者により年間を通じて提供される農業体験、クラフト体験など多くの体験メニューが特徴の公園。

取り組み・イベント等

- ・農業体験等の時期的に変更ができないもの
⇒効率的には悪く（細切れ、人数の絞り込み等）だったが、お客様への配慮が増え、イベントの質が向上した。



- ・マンパワーの制限
⇒地元の人材との連携
- ・県外利用に制限がかかる
⇒地域之力や魅力を再発見することができる。

南の国の公園を想定した「新しい生活様式」に対応した取り組み

日付：2021年10月21日
グループ番号：7
進行係：
書記係：
発表者：

キャッチコピー 『デジタルとリアル』が融合した公園利用

公園の設定

- ・城址公園 広さ4ha 正殿を中心に歴史的建造物が散在。
歴史的背景を大切にし、各種制限が設けられる。
近隣利用（小学校が隣接）も見込める憩いの場でもある。※小学校はタブレット端末を配布されている。
Wi-Fi環境・テレワークができる公園。有料である。 ※年間パスポート等多様な料金体系を構築。

取り組み・イベント等

- ・ネット環境を活用したイベント
- ・隣接する小学校が使える
- ・観光利用から近隣利用への転換
- ・収入を維持向上させるイベント、インターネットショップ
- ・デジタルとリアルの使い分け
- ・観光利用はデジタル、スマホの活用

キャッチコピー

『公園で心とからだ・仕事をリフレッシュ』

公園の設定

- ・大都市圏にある運動公園。

取り組み・イベント等

(平日の利用促進)

- ・平日の利用促進として、リモートワークができる場所を整備する。(ネット環境・電源・カフェ)
- ・ランニングステーション機能(家→ランニング→公園→シャワー→会社orリモートワーク)
- ・分散利用を目的に、開園時間を早める。高齢者向け。開園前の早朝ヨガ教室・閉園後の星空観察
- ・スケボー教室。サッカー教室。(若者向け) 幼稚園に芝生のサッカー場を開放
- ・ウォーキングマイレージ(特典付き)

(コロナ対策)

- ・体調管理ができる・カメラを活用して体温管理・人流抑制
- ・ワクチン接種証明・陰性証明の活用・居住地での利用制限
- ・非接触対応(キャッシュレス化・ヘルメットの貸し出しは利用者判断とする・手洗い水洗の自動化)

日付：令和3年10月21日

グループ番号：8

進行係：

書記係：

発表者：

キャッチコピー

『近くに移住したくなる公園』

公園の設定

- ・ 地方中核都市にある広域公園
- ・ 農村や里山の風景を残す地域

取り組み・イベント等

- ・ 参加者が自立して実施出来るイベント ※3蜜を回避し対面や会話を減らす。
 - ・ 他のグループとの接触を少なくし、各自食事を持ち込んだ体験型宿泊（キャンプ）イベント
 - ※従来、車は駐車場から宿泊場所までかなりの距離はあったが、コロナ禍では車を極力、近くへ駐車してもらえ（移動手段としてカート貸出なども併用）
 - ・ オープンスペースの有効活用
 - ・ 事前に動画配信サイトで体験型イベントを告知も含めて配信する。（勾玉作りや火おこし体験）
- ⇒ 動画等で見ても実際に体験したい方の来園者獲得 ⇒ 地方創生や移住者に繋がる地域活動を若者などを対象に実施。
- ・ 期間限定の遊具設置

日付：2021年10月21日
グループ番号：9班
進行係：
書記係：
発表者：

キャッチコピー

『NO PARK , NO LIFE !』

公園の設定

- ・都市郊外にある広域公園
- ・管理運営方針：安全・安心 / 快適・清潔な場所である / 多様な利用者を対象とする。（年齢・国籍...）
- ・施設概要：BBQ / ケータリングカー / 季節の花壇 / 環境教育施設及びゾーン / 遊具広場 / 芝生広場

取り組み・イベント等

- ・飲食提供の中止：コロナ禍初期は、3三つの回避、消毒等の対策が必要になった。

現在は行政の方針で利用が中止となっており、販売等への変更が対応として行われている。

【課題：アルコール類の持ち込み禁止等、コロナ禍におけるルールを守らない人への対応】

- ・複合遊具の利用制限：コロナ禍初期は、利用を中止していた。オープンスペースの利用が増加した。

【取組：オープンスペースにおける3密回避のアナウンス

整理券による人数制限の実施。利用時間は利用人数の状況に応じて判断。／時間による利用制限、別のあそび場のアナウンス】

- ・公園の持つ力と魅力を再確認することができた。

【課題：個人利用は増加したが、団体利用は減少した。利用者数は回復しつつあるが、外国の方など、アナウンスが届いていない利用者層の回復が遅れている。】

【取組：利用再開、利用方法の提案を乳幼児対象、外国語対応などで行う。安全確保、ワクチンパスポートの検討】

- ・環境教育等イベントの実施時の対応

【取組：オンラインでのイベントの実施、人数制限、予約制での実施、駐車場における入場制限 時間を短くし、回数を増やす】

外部発信力の必要性 / 誠意を持った対応 / コンセプトワーク、地域・ボランティアとのコミュニケーションを今まで以上に綿密に取り組む。

日付：2021年10月21日

グループ番号：10

進行係：

書記係：

発表者：

キャッチコピー

『盛り上げろ、盛り上げるな』

日付：2021年10月21日
グループ番号：1
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

- ・都心のターミナル駅に近い近隣公園
- ・若者が多く集まる
- ・広場型の公園



取り組み・イベント等

問題点・課題に対する対応

- (1) 公園の利用者が多く広場利用の親子連れなども密
 - ・混雑状況を判断してもらう仕組みの導入
 - ①監視カメラでライブ配信
 - ②SNSで現況の発信
 - ③混雑する時間を予想して事前発信する

問題点・課題に対しての対応

(2) 夜に若者の酒盛り

- ・コントロールをしやすいようにルールを設定する。
- ・コロナ警報 一時封鎖して禁止、それ以外は見守りながら実施

(3) 夜の若者に対してのクレーム

- ・親身になって聞く。妥協点をさぐる。
- ・上記(2)で改善案を提示する



(4) 消毒液などの感染予防グッズの設置

- ・光触媒の散布

日付：2021年10月21日
グループ番号：1
進行係：
書記係：
発表者：

問題点・課題に対しての対応

(5) 海外の人の利用も含め、様々な方への コロナ対応への周知

- ・ピクトグラム看板など視覚的にわかりやすいもの
- ・高齢者には仲良くなって聞く耳をもっといただくことが必要

・グッズ導入（4カ国対応の侵入禁止）

- ・いざというときに警察に通報できるように連携しておく

- ・美術館などの密を避けづらいもの（アート展）を公園（屋外）で実施

(6) イベント実施する際のルールの設定

- ・予約制の導入、人数制限
- ・距離がとれるもの、声を発しないヨガなど
- ・ライブ（楽器中心のもの、ダンスなどの鑑賞のもの）

キャッチコピー

『 イベントやりたい 』

公園の設定

- ・大都市圏にある運動公園：スポーツ施設、自主イベントも実施

取り組み・イベント等

日付：2021年10月21日
グループ番号：2
進行係：
書記係：
発表者：

新しい生活様式に対応したイベント開催

- ・オンラインで繋ぐ**複数**の公園連携

複数公園をオンラインで繋ぐことでイベント実施

開催状況を動画でアップすることで利用促進

オンライン・オフラインどちらでも対応可能で距離があっても参加できる。

- ・大規模集客イベントの実施に向けた**新たな**取り組み

人数確認をしながら入場者数の制限を実施する。

エリアを区切ることで導線をコントロールしやすい

体に対するアプローチ・個人に対するアプローチ

予約制などの対応がしやすくなる

共催者との安全対策の共有が容易になる

『ルール作りと広報で安心安全の徹底』

公園の設定

- ・大都市圏にある運動公園

取り組み・イベント等

- ・利用者数管理のルール作り
- ・ICTの活用
オンラインの活用（映像配信、利用指導）
AIによる駐車場における台数管理
- ・情報発信（広報）
TwitterなどのSNSによる情報発信
- ・テイクアウト等による新たな飲食サービス

キャッチコピー

『パンデミック & 災害に強い公園』

日付：2021年10月21
日グループ番号：4G
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

- ・公園名「都心第4公園」
- ・都心のターミナル駅に近い近隣公園新宿中央公園などのイメージ
- ・繁華街路と一体の広場型の公園

取り組み・イベント等

パンデミック & 災害に強い公園のモデルを作るために下記の取組みを検討しました。

- ・公園丸ごと光触媒コーティング施工
- ・売店ワクチンパスポートの導入
- ・要所で消毒・検温等の感染予防資材完備
- ・デジタル化を進め公園職員と利用者の接触機会を減らす取組み
- ・来園の際にくぐるアーチなどで紫外線などで殺菌できる仕組みなどの企業の最先端技術の試験ができるような公園
- ・消毒の資材などにネーミングライツを導入して資金調達。企業協賛を募る
- ・パンデミック時の公園利用ルールを利用者に広くお伝えし、協力をお願いする

キャッチコピー

『地域を巻き込んでコロナ禍を乗り切ろう！』

公園の設定

- ・ 都心のターミナル駅に近い近隣公園（新宿中央公園をモデルに）

取り組み・イベント等

- ・ キーワード：公園間ネットワーク、若者、地域全体で解決、住民をいかに巻き込んで味方にするか
- ・ 地域には旧市街地や新規マンションがある
 - いろいろな意見が出るので、それをまとめるのが良い公園を作るキーワード
 - それぞれにメリットがある提案を行う
(例：日替わりでお弁当販売の出店者を募る)
- ・ 地元の課題を社会実験的に公園で実施してみる
- ・ 分散利用
 - スケボーやダンス、焚火等をただ規制するのではなく、できるスペースを提供する
複数公園で社会実験的に実施する（若者のマナー向上）
- ・ 夜間も人の目がある仕掛けづくり（出店等）を行い、マナー啓蒙も合わせて治安のよい公園を作る

日付：2021年10月21日

グループ番号：5

進行係：

書記係：

発表者：

キャッチコピー

『暮らしと健康を支える』

日付：2021年10月21日
グループ番号：6
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

- ・ 地方中核都市にある公園
- ・ 子育て中のファミリー層が多い地域

取り組み・イベント等

- ・ モバイルワーク テーブル・ベンチの充実、充電サービス
- ・ 1人でも利用できる施設
- ・ 新しいスタイルのイベント展開→事前告知（安心感） 屋外をフィールドに
- ・ 公園でできることを積極的に発信
- ・ 利用者の意見 モニタリング→公園のファンを作る→発信に期待
- ・ 広く分散させたい→移動手段／電動キックボード・GPSを使った誘導
- ・ 課題解決型イベント
 - ペットを飼う人の増加→ペットマナー教室
 - 健康への不安→健康増進イベント、プログラム *スタッフの健康管理にも留意

- ・ イベントの中止、**BBQ**の休止、食材の提供休止
- ・ 県の感染状況に応じて
- ・ 自転車利用増えた 想定外
- ・ 収益施設の収入減に対する補償がない
- ・ 自主事業収入減
- ・ カフェ収入減を自販機収入で補う

『 利用の分散化でコロナに負けない公園 』

日付：2021年10月21日
グループ番号：7
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

- ・ 郊外にある広域公園
(噴水池・流れ、バーベキュー広場、春のサクラ、秋の紅葉)

取り組み・イベント等

【問題点】

- ・ 閉園による収入減。開園したが、イベントができない。
- ・ サクラ 花見宴会禁止による利用者数減（期間短い）。
- ・ 紅葉 （期間長い）
- ・ 越境利用の自粛。
- ・ マスク未着用への苦情 感染症対策に関するもの。

【取り組み】

- ・ 感染症対策（マスク、消毒液の設置、ワクチン接種証明？）
- ・ 入場制限（有料施設、イベント事前予約）
- ・ 混雑状況（オフピーク）の案内
- ・ 開園時間の拡張（早朝の利用、分散化）
- ・ オンライン発信（閉園時の広報）
- ・ 売店 非接触型端末の導入、テイクアウトメニューの強化
- ・ セルフ利用ツール（アプリ）

キャッチコピー

来園者のアイデアが生きる公園づくり ～運動公園を楽しく使おう～

日付：21年10月21日
グループ番号：
進行係：
書記係：
発表者：

公園の設定

・都市部にある運動公園、テニスコートや体育館、フィットネスマシンをそろえたスポーツジムのある運動公園、芝生広場があり人々が集うことのできる公園

取り組み・イベント等

- ・地域を巻き込み公園の活性化も目的とする自主事業イベント開催
- ・地域の学校と連携し子ども主体の公園づくり
(アイデアを子どもたちから発信)
- ・来園者からアイデアをだしてもらう (ポイント制)
自主事業イベントで施設開放 (ポイントに応じて使用可能)
来園者がコロナウイルス感染症対策ができていればポイントがもらえる

ディスカッションテーマ

日付：21年10月21日
グループ番号：
進行係：
書記係：
発表者：

新型コロナウイルス感染症が依然として続く中で、公園管理者として

「新しい生活様式」に対応した取り組みについて具体的に提案してください。

設定した公園の条件に応じて、コロナ禍で生じた問題点、その解決にあたっての課題

問題点

- ・ 体育館内での共有スペースが利用できない

解決策

密になるため待機スペースがないので外での待機が求められる
待っている間に来園者のアイディア（クイズ、運動等）をして
楽しく待機出来るようにする

※アイディアを出してくれた方にはポイント付与する

ディスカッションテーマ

日付：21年10月21日
グループ番号：
進行係：
書記係：
発表者：

新型コロナウイルス感染症が依然として続く中で、公園管理者として

「新しい生活様式」に対応した取り組みについて具体的に提案してください。

設定した問題点や課題を踏まえたうえでコロナ禍においても人々のQOL（生活の質）を維持し高めていくためには公園管理者としてどのように取り組んでいくべきか具体的な取り組み内容を示してください。

- ・ 自主事業イベントで施設を開放し運動できる場所を提供することで「新しくコミュニティ」が構築されることで運動するという「生活習慣」が生まれ、運動することにより健康が維持され生活の質が高まる

『安心・安全な里山体験が こんなに身近に』

公園の設定

・大都市近傍にありながら農村や里山の風景を残す地域にある風致を、多目的室、管理者による様々な体験メニューが、公園の伝統的特徴となつてきている。

取り組み・イベント等

- ・ 拠点建物に使用制限があるが、ソーシャルディスタンスを守った上でグループ単位にする等対策を取って利用する。
- ・ 手洗い場や水飲み場に石鹸を設置する、トイレなどの施設は光触媒コーティングで抗菌するetc。実施した対策は利用者にアピールする
- ・ 健康づくりの場としての公園をアピールする
- ・ 屋外で開催できるものは屋外で実施する
- ・ You Tubeを活用した広報、各種教室の動画を発信する

『心もカラダも健康になる公園』

公園の設定

- 10～50ha総合公園
- 郊外部（都心から車・バス）
- 代表的な施設
 - ・芝生広場　・休憩施設　・運動エリア
 - ・ランニング、ウォーキングコース
 - ・ビジターセンター　・遊具広場
 - ・競技場（サッカーコート）
 - ・ディキャンプ　・カフェ、レストラン

日付：令和3年10月21日

グループ番号：11

進行係：

書記係：

発表者：

- テレワーク推奨や登校自粛等への対応
- 大型イベントや講習会参加人数の制限
- 健康や自然への意識の高まり
- 利用者数の変化（郊外型の公園では逆に増加も）
→ 対応検討

（管理者側その他課題）

- ・水栓（トイレ等）非接触型に変更
- ・大型遊具等の消毒 → スタッフ負荷増加
- ・利用料金減少（競技場等）
- ・スタッフの健康管理（夏場のマスク着用等）

●ワーケーション推進

- ・公園内にテレワークオフィス（Wi-Fi整備？）
- ・ディキャンププラン、宿泊プラン
- ・子供、ファミリー用プログラム

●オンライン講習会

- ・自然観察ツアー（公園の昆虫等）
- ・屋外講習会

●ブックピクニック

- ・併設図書館、地元高校パティシエ科によるオープンカフェ

●ウェルネスイベント

- ・密にならない工夫（フラフープ、ヨガ等）
- ・利用者と他来園者の利用調整（エリア、ルール等）

●混雑状況の広報

- ・アプリ等（DX推進企業協賛・助成金利用等）

●フォトウォークラリー

- ・分散利用、公園の良いところ探し
- ・広報

●森林浴

- ・マインドフルネス（心のエクササイズ）

『間を意識した公園 (時間、空間、人間)』

日付：令和3年10月21日

グループ番号：12

進行係：

書記係：

発表者：

公園の設定

- ・ 地方中核都市郊外にある大規模公園。BBQ場などの有料施設、大型遊具のある遊具広場、大きな芝生広場、四季折々の樹木や花畑などがある公園。

取り組み・イベント等

「取り組み」

- ・ タイムリーな情報発信（混雑状況、イベントの申し込み状況等）
- ・ BBQ場や花見スペースにおける区割り等の設定（ソーシャルディスタンス）
- ・ 解りやすい掲示物の掲示・設置。手洗い等の励行、消毒液の設置。

「イベント」

- ・ 駐車場を活用したドライブインシアター
- ・ 空間を利用したヨガなどのスポーツ体験イベント
- ・ 時間を制限した花畑を活用した花摘みイベント